履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	水	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	コミュニケーショントレーニング			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

俳優養成所にて講師歴30年。全国の小中学校並びに大学院・企業・病院での演劇ワークショップの開催。H26より警察庁・全国銀行協会と組んで特殊詐欺撲滅運動に参加。現在も全国の銀行窓口にて作品が上映中。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
大切なことは、授業内に留まらず、学校生活・日常生活全体で鉄道人としてのプロ意識を育むこと。	①鉄道人は駅や車内において「心地好さ」を提供する者であることを認識し、自身のコンディションに左右されず、お客様の前で常にホスピタリティを意識できる人間になる。 ②学校生活そのものをコミュニケーションのひとつの練習台として捉え、鉄道人として誰にでも気さくに接し挨拶・発言・笑顔・アイコンタクトを相手に届けられる人間になる。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
舞台上でのセリフや演技表現、演出技法を学ぶ。演劇メソッドを用いたワークを通して、自己の表現力・発想力・コミュニケーション能力を高め、チームワークを養う。
(授業形式)
基礎的な表現力や発想力をインプットした後は単元ごとに決められたグループで練習を行い、講師に正解を聞くのではなく学生がお互いにアウトプットをしながら発表方法を模索していく。実技の様子を動画に記録し、自身の成長を可視化する。
(評価方法)
実技テスト(単元毎)…1人や複数人での発表を通して、自分なりの工夫を織り交ぜながら発表を相手に届ける姿勢を評価

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック 到達目標（Can Doなど）
1	4月15日	オリエンテーション(15分) 自己紹介・テキスト配布(外郎売読み稽古)	□声を出すという無意識を意識化してゆく □言葉を扱うという無意識を意識化してゆく □それを「話す」「読む」につなげる意識を持つ
2	4月22日	ウォーミングアップ(30分)緊張について 外郎売稽古(読み稽古)	□脱力・平常心の大切さを知る(「普通」を得るためにするべきこと) □その上で「伝える」という意識を持つ □
3	5月13日	W-UP・観察力について 外郎売稽古(読み稽古)	□好奇心を持つことの大切さを知る(見えるではなく「見る」ということ) □自分の声と言葉に対してきちんと意識を持つ □
4	5月20日	W-UP・伝達力について 確認テスト①「外郎売」暗唱 実技30点 第ニテキスト配布「ちいさなあなたへ」	□相手を意識する大切さを知る(「届ける」ということ) □自己満足で終わらせず、どう見えているのかどう感じられているのかを客観的に考察する □課題への責任として暗記に向き合ったかの確認
5	5月27日	W-UP・想像力について ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	□五感を更に研く大切さを知る(想いを伝えるということ) □目に見えない大事なものをしっかりと表現し、それを心と身体を使って届ける意識を持つ □グループを決めて各班で配役・構成を考える。
6	6月3日	W-UP・子ども心・遊び心について ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	□ゆとりを持つ大切さを知る(大人として遊ぶということ) □頭で考えるだけではなく、心と身体を使うことで生まれるものがあることを知る □各グループごとに構成・演出を自分たちで創造(意見を出し合うこと)してみる
7	6月10日	W-UP・瞬発力について 確認テスト②「ちいさなあなたへ」グループで朗読 実技30点	□一瞬のリアリティを積み重ねる大切さを知る(集中するということ) □自己の中にオンオフのスイッチを持つ感覚を知る □
8	6月17日	フィードバック ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	□自己の武器と弱点を知り、その対策を考える □他者と考えを合わせるために、自分軸の持ち方の必要性を知る □
9	6月24日	W-UP・調整力について ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	□ブレないクオリティを保つ大切さを知る(感情・体調に左右されないということ) □技術は大事だが、メンタルをまずは鍛える必要を知る □表現する上で相手との呼吸や観客への意識を持つ
10	7月1日	W-UP・共有力について ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	□ホスピタリティの大切さを知る(誰かと創るということ) □違いがあることをきちんと認め合った上で、相手を否定しない自分を意識する □
11	7月8日	ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	□グループとして上演に向けてのブラッシュアップを考える □個人としてどう見えているのか、客観的考察と細部における更なる創意工夫を考える □
12	7月15日	ちいさなあなたへ稽古(通し稽古)	□再度グループとして上演に向けてのブラッシュアップを考える □作品として観客の想像力を上手く引き出せているかの考察 □
13	7月22日	確認テスト③「ちいさなあなたへ」上演 実技 40点	□声・言葉への意識再確認 □自身が共演者と共に表現を楽しんでいる意識を持つ □
14	7月29日	フィードバック	□上演を振り返り、表現者としての自己の武器と弱点をあらためて知る □その弱点克服に対して、何が必要なのかを考える □

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	月	時限	3	単位数	2	時間数	15
科目名	ホスピタリティ研究			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

東急電鉄にて旅行業、経営企業において旅行業・物産販売・喫茶店業を経験。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
教材：PowerPoint、ロイロノート 自己学習法：学んだことを学校生活、アルバイト、企業実習先で実践する	①ホスピタリティの重要性を理解し、ホスピタリティに必要な5つの「力」を身につける ②様々な事例に対して対応できる力を身につける ③学内やアルバイト、企業実習先で、+αのホスピタリティ対応ができるようになる

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
ブライダル、エアライン、鉄道、ホテル、テーマパーク、クルーズなど、各業界の事例をもとに、ホスピタリティに必要な5つの「力」を学び、ホスピタリティの重要性を理解し、実践的なスキルを身につける。
(授業形式)
ホスピタリティに必要な5つの力について業界事例をもとに、自ら気づきを得るためのワーク、ディスカッション・実技形式を中心とした授業を展開する。
(評価方法)
確認テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。D評価者は単位を付与しない。レポート3回（15点・15点・40点）、実技1回（30点）

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック 到達目標（Can Doなど）
1	4月13日	・担当講師紹介(初回授業のため)、相互交流 ・授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試 ・ホスピタリティとサービス	□ホスピタリティとサービスの違いを理解した
2	4月20日	・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」	□ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した
3	4月27日	・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」 【確認テスト】レポート（15点）□	□ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した □ケーススタディにより「感知・想像」がより理解できるようになった □確認テスト：レポート提出
4	5月11日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」	□ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した □多様性・ダイバーシティについて理解した
5	5月18日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」	□ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した □セルフマネジメントについて理解した
6	5月25日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」 【確認テスト】レポート（15点）	□様々な考え方や行動があることを理解した □確認テスト：レポート提出
7	6月1日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」	□ホスピタリティに必要な「マナー」について理解した □第一印象・表情・所作の重要性を理解した
8	6月8日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」	□ホスピタリティに必要な「マナー」について理解した □言葉遣い・言葉の言い換え・価値語について理解した
9	6月15日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」 【確認テスト】実技（30点）	□なぜマナーが重要かを理解した □確認テスト：動画提出
10	6月22日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」	□ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した □質問力・褒め力について理解した
11	6月29日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」 【確認テスト】レポート（40点）	□ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した □確認テスト：レポート提出
12	7月6日	ユニバーサル対応	□ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いについて理解した □ピクトグラムについて理解した
13	7月13日	ユニバーサル対応	□高齢者への配慮を理解した □身体障がい者への配慮を理解した（聴覚・視覚）
14	7月27日	ユニバーサル対応	□内部障害について理解した（知的・発達・精神）

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	火	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	運転法規			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

京王電鉄にて、駅係員・車掌・運転士、運輸指令所で勤務後、乗務主任、現在は鉄道教習所で教師として勤務（甲種電気車運転免許を所持）

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
講師作成資料	・鉄道に関する法令、法規を理解させる。 ・動力車操縦者に関する省令を理解させる。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
鉄道営業法、鉄道事業法、鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の各種法令について学び、就業後に活かす。
(授業形式)
講義を中心におこない、図を書きながら説明する。
(教材)
講義ごとの資料を使用する。
(評価方法)
単元の終了ごとに行う筆記の確認テストおよび課題の提出の合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。学期の終わりにD評価者に対して、再学習課題を与え合格基準（全問正解）であった場合に、P評価＝単位認定とする。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月14日	運転法規の意義・種類	□運転法規の意義や種類を理解する。 □ □
2	4月21日	運転法規の意義・種類	□運転法規の意義や種類を理解する。 □ □
3	4月28日	運転法規の意義・種類	□運転法規の意義や種類を理解する。 □ □
4	5月12日	確認テスト（20点） 動力車操縦者運転免許に関する省令	□確認テスト □動力車操縦者運転免許に関する省令を理解する。 □
5	5月19日	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □ □
6	5月26日	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □ □
7	6月2日	確認テスト（20点） 鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□確認テスト □鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □
8	6月9日	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □ □
9	6月16日	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □ □
10	6月23日	確認テスト（20点） 鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□確認テスト □鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □
11	6月30日	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □ □
12	7月7日	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □ □
13	7月14日	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	□鉄道に関する技術上の基準を定める省令を理解する。 □ □
14	7月21日	確認テスト（40点）	□確認テスト □ □
15	7月28日	総まとめ	□今までの授業を振り返り不明点を無くす。 □ □

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	金	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	鉄道概論			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

東日本旅客鉄道（株）で7年間勤務し、駅での改札・輸送業務に加え、輸送指令も経験。現場と指令の双方で培った視点を生かし、その知見を基に指導する

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
授業スライドおよびロイロノート使用	2年間の学びの基礎として鉄道業界の仕組みや各職種と必要なスキルを学習することで、「鉄道業界」に対する視野を広げ、今後の専門学習に備えることを目標とします。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
鉄道の歴史や仕組み、運行の流れ、設備の特徴、多様な職種の役割を幅広く学ぶ。実例を通して鉄道産業への理解を深める。
(授業形式)
講義とディスカッションを組み合わせ、内容を理解するだけでなく、自分の意見をしっかり表現、共有しながら学ぶ形式とする
(教材)
授業スライドおよびロイロノートを使用
(評価方法)
3回の確認テストに加え、授業への取り組み状況や発言内容を総合して評価する。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標（Can Doなど）
1	4月10日	授業ガイダンス 鉄道の仕事		□授業の形式と学習項目、評価基準を理解する □駅務・運転・設備・指令など、鉄道を支える多様な職種の役割と業務内容を理解する
2	4月17日	鉄道の特性		□鉄道の大量輸送性・定時性・安全性などの特性を理解する □車両・線路・信号の仕組みから特性が生まれる理由を理解する力を養う □運行事例を通して鉄道特性の社会的役割を多面的に捉える力を育てる
3	4月24日	鉄道の仕組み①（車両、線路、信号）		□車両・線路・信号の基本構造を理解する □安全運行を支える設備の役割を説明できる
4	5月8日	鉄道の仕組み②（運行管理とダイヤ）		□ダイヤ作成の基本的な考え方を理解する □指令業務の役割と重要性を説明できる □鉄道が時刻通りに動く仕組みを説明できる
5	5月15日	確認テスト（30点） 駅の役割と駅務の仕事①		□駅が担う基本的な役割（交通結節点・サービス拠点・安全確保）を理解する □駅構内の設備や機能を把握し、利用者サービスにどうつながるか説明できる □駅が地域社会に果たす役割を多面的に捉え、鉄道全体の中での位置づけを理解する
6	5月22日	駅の役割と駅務の仕事②		□駅務の主な業務（案内・改札・安全確認・バリアフリー対応）を理解しすることができる □駅員が行う安全確保の流れを理解し、運行全体に与える影響を捉える □駅務の仕事に求められる能力や姿勢を理解することができる
7	5月29日	鉄道の安全文化と事故からの学び①		□鉄道安全体験研修に参加するうえで必要な諸注意や行動規範を理解し、適切に行動できる準備を整える □研修で何を学ぶべきかを自ら考え、目的意識をもって参加する姿勢を身につける
8	6月5日	乗務員の仕事①		□運転士の主な業務内容を理解し、その役割を説明できる □運転士が行う安全確認の流れを理解し、安全運行に必要な判断の重要性を捉える □運転士の業務が駅・指令・車掌とどのように連携しているか理解する
9	6月12日	鉄道の安全文化と事故からの学び②		□鉄道安全体験研修で得た気づきや学びをもとに、意見を共有しディスカッションできる。 □自分が鉄道員として働く場面を想定し、安全を最優先にどのように行動するか考察できる
10	6月19日	乗務員の仕事②		□車掌の主な業務を理解し、その役割を説明できる □車掌が行うホーム・車内の安全確認の流れを理解し、乗客対応の重要性を捉える □運転士・車掌・駅・指令が連携して運行を支える仕組みを多面的に理解する
11	6月26日	設備部門の仕事（保線・電気・信号） 確認テスト（30点）		□保線・電気・信号の各部門の役割を理解する □設備保守が安全運行に果たす役割を説明できる □設備部門の連携の重要性を捉える
12	7月3日	車両部門の仕事		□車両の構造や機器の基本的な仕組みを理解し、車両部門が担う役割を説明できる □検査・点検・整備の流れを理解し、安全運行を支える車両保守の重要性を捉える □車両部門が駅・乗務員・指令など他部門と連携して運行を支える仕組みを理解する
13	7月10日	アテンダント、観光列車クルーの仕事		□観光列車クルーの主な業務を理解し、その役割を説明できる □地域の魅力発信や観光振興において、アテンダントが果たす役割を多面的に捉えることができる
14	7月17日	鉄道業界の現状と課題		□利用状況の変化と背景を理解する □地方路線や人材確保などの課題を説明できる □業界の現状を社会問題と関連づけて考察できる
15	7月24日	前期まとめの確認テスト（40点）		□学習内容を振り返り、鉄道業界の仕組みを自分の言葉で整理して説明できる □鉄道の役割・職種・安全・技術など、多面的な視点から業界を総合的に理解できる
16	7月31日	学習内容の振り返りと自分の将来を考える		□自分が興味を持った分野や将来の関わり方について考えることができる □鉄道業界への理解をもとに、今後の進路や学びに生かす視点を持てる

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	水	時限	3/4	単位数	4	時間数	60
科目名	鉄道企業			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

東急電鉄および東日本旅客鉄道、JR東日本グループにて、鉄道現業の営業系・技術系業務を通算20年以上経験

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
教材：ロイロノートスクールに授業後格納 自己学習法：企業ニュースリリースやHP更新の適宜確認	鉄道企業への就職時の基礎知識として活用されることを目的としている。また、就職後の他社協業時において企業情報の源泉としての活用も期待している。他社状況を知ることで、自社事業へ活かすことで、さらなる企業発展、しいては業界の安全や発展に繋げてほしい。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
日本全国鉄軌道事業者の歴史や事業、企業文化や風土などを公式動画などで学び、就職先選択や就業後の業務知識に活かすことを目標とします。
(授業形式)
講義
(教材)
ロイロノートスクール
(評価方法)
1.授業後、次回授業開始時刻までに所定(全13回提出、各回2点)のレポートおよび定期試験(2回)による方法とし、4単位分を一括判定します。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック 到達目標（Can Doなど）
1	4月15日	オリエンテーション 1.JR東日本、2.JR東海、3.JR西日本	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
2	4月22日	4.JR北海道、5.JR四国、6.JR九州、7.JR貨物、8.東武鉄道	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
3	5月13日	9.西武、10.京成、11.京王、12.小田急、13.東急、14.東京メトロ	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
4	5月20日	15.京急、16.相鉄、17.名鉄、18.近鉄、19.南海、20.京阪	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
5	5月27日	21.阪急、22.阪神、23.西鉄、24.北急、25.山陽、26.神戸高速、27.札幌市	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
6	6月3日	□確認テスト(筆記37点満点) 28.函館市、29.仙台市、30.東京都、31.横浜市	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
7	6月10日	32.名古屋市、33.京都市、34.大阪市、35.神戸市、36.福岡市、37.熊本市、38.鹿児島市、39.道南いさりび、40.青函トンネル、41.津軽	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
8	6月17日	42.弘南、43.青い森、44.八臨、45.三鉄、46.IGR、47.岩手開発、48.仙臨、49.仙空、50.内陸、51.由利高原	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
9	6月24日	52.山形、53.阿武急、54.福交、55.会津、56.福臨、57.ひたちなか、58.鹿臨、59.関鉄、61.筑波、62.TX	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
10	7月1日	63.真岡、64.宇都宮ライト、65.わ鉄、66.上毛、67.上信、68.秩父、69.埼高、70.埼新	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
11	7月8日	□確認テスト(筆記37点満点) 71.銚電、72.北総、73.流鉄、74.東葉、75.山万	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
12	7月15日	76.千葉モノ、77.京葉臨、78.舞リゾ、79.小湊、80.いすみ、81.芝山、82.ゆりかもめ、83.りんかい	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
13	7月22日	84.東モノ、85.多摩モノ、86.高尾登山、87.御岳登山、88.神奈川臨海、89.横浜高速、90横浜シーサイド	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる
14	7月29日	91.湘南モノ、92.江ノ電、93.大山観光、94.小田急箱根 □前期振り返り	□企業名から営業範囲が理解できる □企業名から事業内容、関連企業(グループ企業)が理解できる □各企業の就職状況または募集状況が理解できる

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	月	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	鉄道接遇			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）
新幹線での車内販売での接遇経験、JR東京駅改札、窓口での接遇経験を活かし、細かい鉄道会社ならではの接遇を教えたい。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
講師作成の資料、窓口のモックアップ	鉄道会社の接遇は、一般的な接遇と違い、場面によって異なります。例えば、駅では急いでいるお客様が多いので、スピーディーにかつ丁寧に接客しなければいけません。鉄道ならではの接客、クレーム対応方法などをモックアップも使用し実践的に教えたいです。

(授業概要)
最初は身だしなみの基礎から取り組み、接客の言葉遣いの基礎、クレームの対応方法、細かい接客の所作などを覚える。
(授業形式)
講師作成の資料による座学、モックアップを使用した実技演習を織り交ぜた授業形式とします。
(教材)
講師作成の資料
(評価方法)
単元の終了ごとに行う筆記試験（身だしなみや接客に関する言葉遣いの基礎）20点、駅の改札ときっぷ売り場窓口を想定した実技試験それぞれ４０点づつの満点100点により評価します。評価基準はA（100点～80点）B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）、学期の終わりにD評価者について再学習課題を与え６０点を取れた場合に、P評価＝単位認定とする。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標（Can Doなど）
1	4月13日	授業ガイダンス		□講師の自己紹介 □授業概要の説明 □接客の５原則に関する説明
2	4月20日	身だしなみの基礎、駅にはどんなお客さまが来られるかを知る。		□身だしなみの基礎について１から教える。 □接客するうえで身だしなみがどれだけ影響するか考える授業とする。
3	4月27日	挨拶と表情の基礎		□挨拶の重要性、 □お辞儀の角度、分離礼、表情を知り実践。
4	5月11日	接客場面での言葉遣いの基礎		□正しい言葉遣いでの接客を覚える。 □鉄道を利用されるお客さまの立場に立って、専門用語は避けた接客を覚え実践する。□お体の不自由なお客さまの接客方法などを学ぶ。
5	5月18日	駅改札、窓口でのクレーム対応		□駅改札や窓口では、どんなクレームが多いかを知り、対処法を知る。 □実際にクレーム対応を実践。
6	5月25日	駅改札場面を想定し接客の実技		□ここまでの座学を踏まえ、駅改札場面を想定し接客の実技に取り組む。
7	6月1日	窓口場面を想定し接客の実技		□新幹線のきっぷ売り場を想定し、実際にきっぷの発売の発売などを想定した実技に取り組む。
8	6月8日	前期試験前の復習		□前期実技試験前の今までの授業の復習、講師への質疑応答など
9	6月15日	実技試験（改札場面リハーサル）		□いろいろな接客パターンを想定して、駅員になった事を想定、改札場面を想定し実技試験リハーサルを行う。
10	6月22日	実技試験（窓口場面リハーサル）		□改札場面と同じく新幹線の切符売り場を想定して、実技試験リハーサルを行う
11	6月29日	・確認テスト筆記試験（身だしなみの基礎、言葉遣いの基礎、接客の５原則など）２０点満点		□身だしなみや言葉遣いの基礎、接客の５原則を覚えるための筆記試験
12	7月6日	・確認テスト実技試験（改札場面）４０点満点		□身だしなみ、言葉遣い、駅改札での接客対応能力を見るための実技試験
13	7月13日	・確認テスト実技試験（窓口場面）４０点満点		□身だしなみ、言葉遣い、駅窓口での接客対応能力を見るための実技試験
14	7月27日	前期の復習、確認テスト２		□前期授業の復習、確認テストの復習、講師への質疑応答、駅係員としての鉄道の心構えを知る □７月６日、13日の確認テストが終わらなかった場合７月27日に追加で確認テストを行う

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E1	曜日	金	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	就職対策演習			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

旅行会社にて企画・営業・添乗業務全般を経験。本校では延べ10年新卒・中途採用の面接官をするとともに学生への面接指導も担当

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
講師作成資料	業界企業で実施される就職試験の特徴に合わせ、エントリーシートや履歴書・面接対策などの就職試験対策を行う一方、自己理解、業界研究を通じて、将来のキャリア形成に役立つ力を育成することを目標とする。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
キャリアガイダンスおよびグループディスカッションの授業と連動して、就職試験に勝ち抜くためのエントリーシートの書き方、面接対策を身につける。
(授業形式)
講義および演習
(教材)
パワーポイント・ロイロノート
(評価方法)
課題提出10点×4回、20点×1回、実技10点×4回　計100点

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月10日	授業ガイダンス 就職活動スケジュール・注意点について 駅実習用簡易履歴書の作成	□授業の形式と学習項目、評価基準を理解する □就職活動のスケジュールと注意点を理解する □駅実習用の簡易履歴書を作成する
2	4月17日	クレペリン検査演習（1回目） 駅実習用簡易履歴書の作成	□クレペリン検査の概要を理解する □クレペリン検査の模擬テストを受験する □先週に引き続き、駅実習用簡易履歴書を作成する
3	4月24日	企業研究①（グループワーク）	□企業研究の仕方を理解する □実際の企業の研究を行い発表する □
4	5月8日	企業研究①（グループワーク） 課題提出（グループ）10点	□ □実際の企業の研究を行い発表する □
5	5月15日	企業研究②（グループワーク） 課題提出（グループ）10点	□ □実際の企業の研究を行い発表する □
6	5月22日	企業研究③-1（個人）	□ □興味のある企業を1つ選定し、企業研修を行う □
7	5月29日	企業研究③-2（個人） 課題提出（個人）10点	□ □研究した企業について課題を発表する □
8	6月5日	志望動機の作成 課題提出（個人）10点	□ □研究した企業に対する志望動機を作成する □
9	6月12日	グループディスカッション演習 課題を理解して演習に参加する	□グループディスカッションの概要を理解する。 □自分の課題を理解した上で、グループディカッション実践ができる □
10	6月19日	グループディスカッション演習 課題を理解して演習に参加する10点	□ □自分の課題を理解した上で、グループディカッション実践ができる □
11	6月26日	グループディスカッション演習 課題を理解して演習に参加する10点	□ □自分の課題を理解した上で、グループディカッション実践ができる □
12	7月3日	グループディスカッション演習 課題を理解して演習に参加する10点	□ □自分の課題を理解した上で、グループディカッション実践ができる □
13	7月10日	グループディスカッション演習 課題を理解して演習に参加する10点	□ □自分の課題を理解した上で、グループディカッション実践ができる □
14	7月17日	クレペリン検査演習（2回目）	□ □クレペリン検査の模擬テストを受験する □
15	7月24日	キャリアビジョンを考える①	□鉄道業界の10年後、20年後、30年後がどうなっているか考える □その上で自身のキャリアビジョン（年表）を作成する □
16	7月31日	キャリアビジョンを考える② 前期の振り返り 課題提出（個人）20点	□自身のキャリアビジョン（年表）を作成する □前期を振り返り、、再度志望動機を整理する □

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E2	曜日	木	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	就職筆記試験対策			必修・選択	必修	講師名				実務経験	

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

高校で13年間の教員勤務と鉄道会社での7年間の経験を生かし、鉄道業界で多く出題されるSPI非言語分野の対策授業を担当

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
就職筆記試験対策（非言語分野）	鉄道会社の採用試験で多く実施されるSPI非言語分野の対策を行う授業です。非言語では数的処理が重要となるため、推論・図表の読み取りなど頻出分野を中心に学習します。解法理解と時間内での処理力を養い、各企業の合格基準到達を目指します。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
SPI対策として、テキスト中心に講義を行う。授業ではおもに例題の解答解説を行い、各自の理解力に応じて、演習問題や応用問題に取り組む。
(授業形式)
テキストの基本問題で、SPI特有の解法を講義したのち、その実践として練習問題に各自取り組む。
(教材)
就職筆記試験対策　言語分野・非言語分野
(評価方法)
確認テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月16日	授業ガイダンス SPI試験の概要 非言語分野：推論（順序）	□授業の形式と学習項目、評価基準を理解する □SPI試験の特徴を知る □条件を整理し、図示を用いて人物や物の順序を正確に決定する力を身につける
2	4月23日	非言語分野： 推論（内訳、正誤、平均）	□複数条件を矛盾なく処理し、正しい構成を導けるようになる力を身につける。 □条件や記述の真偽を正確に判断し、整理して結論を導く力を養う。 □与えられた情報を整理し、複数条件を組み合わせて論理的に結論を導く力を養う
3	5月7日	スポーツデー授業なし	□ □ □
4	5月14日	非言語分野： 推論（人口密度、濃度、席順／位置） 確認テスト（25点）	□人口密度の条件を整理し、面積と人口の関係を基に数量を矛盾なく推定する力を養う □濃度と成分量の関係を整理し、条件に基づいて正確に計算できる力を身につける □席順や位置関係の条件を整理し、図示を用いて矛盾なく配置を特定する力を養う
5	5月21日	非言語分野： 推論（対戦、チェックボックス、条件）	□対戦結果の条件を整理し、勝敗関係から矛盾なく順位や関係性を推定する力を養う □条件を整理し、矛盾の有無を判断しながら正しい選択肢を取捨する力を身につける
6	5月28日	非言語分野：推論総復習	□推論分野を総復習し、条件整理と判断を安定して行える力を定着させる □推論問題の考え方を整理し、初見の条件でも柔軟に対応できる応用力を身につける
7	6月4日	非言語分野： 図表の読み取り（相関表） 確認テスト（25点）	□相関表の構造（縦軸・横軸・項目の対応関係）を正しく理解し、図表の意味を説明できる □相関表から必要な組み合わせの数値を正確に読み取り、求められた数量を計算できる □設問条件をもとに、相関表の中から該当データを選択し解答できる
8	6月11日	鉄道安全体験研修のため授業なし	□ □ □
9	6月18日	非言語分野： 図表の読み取り（空欄補充）	□空欄補充問題の出題パターン（合計一致・割合一致・増減関係など）を理解できる □図表内の既知情報を用いて、空欄に入る数値を論理的に導くことができる □制限時間を意識し、空欄補充問題を効率よく解く手順を実行できる
10	6月25日	非言語分野： 場合の数（1） 確認テスト（25点）	□並べ方や選び方の条件を整理し、数え上げの基礎的な考え方を正確に使える力を養う □条件に合う並べ方や選び方を整理し、基本的な数え上げを正確に行える力を養う
11	7月2日	非言語分野： 場合の数（2）	□順序の有無や重複の扱いを区別し、状況に応じて適切な数え方を選択できる力を養う
12	7月9日	非言語分野： 確率（1）	□起こり得る事象を整理し、状況を数値的に捉えて確率を正しく求める力を身につける □複数条件を整理して起こり方を分類し、妥当な確率を導く分析力を養う
13	7月16日	非言語分野： 確率（2）	□確率を基に状況を比較し、より適切な選択や判断につなげる力を育てる
14	7月23日	非言語分野総復習 確認テスト（25点）	□前期で行った、非言語分野を振り返り、問題ごとの基本的な解法手順を整理できるようになる。
15	7月30日	フィードバック、後期に向けた対策	□後期のSPI対策に向けて、今後重点的に取り組むべき分野を明確にできる

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E1	曜日	木	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	業界英会話			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

CELTA(英語教授法認定資格)・言語教育修士課程修了後、ホスピタリティー英語・TOEIC,ILETS、英会話の教授経験を持つ

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
自主教材	日々の英会話を含め、電車を利用される訪日外国人・日本在住の外国人の方へ対日本人と同じような接客ができるように英語のフレーズ、単語を学ぶ。年度末の成果発表にて英語でのご案内を可能にすることを目指す。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
電車の接客において英語でご案内、対応ができるよう駅にて遭遇する可能性の高いシーンに分けて学習を行う。
(授業形式)
講義とRole Play の授業を行う。Role playやアクティビティーが中心の授業になる。
(評価方法)
①Role Play 3回（15点・20点・15点） 計50点
②単語テスト （各10点×5回） 計50

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月16日	Unit 1: At the gate : Important phrases at the statation	□英語で話してみよう! □駅・ホームの英単語 □英語で学校までのルートを言ってみよう
2	4月23日	Unit 1: At the gate : Guiding at the platform	□英語で会話を始めてみよう! □ホーム上のご案内 □ホームの案内を英語でしてみよう
3	5月7日	スポーツデー授業なし	□ □ □
4	5月14日	単語テスト① 10点 Unit1: At the gate : tickets	□英語でリアクションをとってみよう □チケットの種類・買い方案内 □チケットを購入してみよう
5	5月21日	Unit 1: Review and practice	□英語で聞き返してみよう □いままでの復習・テストroele play練習 □よきしない質問にも答えられるようになる
6	5月28日	実技テスト① 15点	□Unit 1 Role play □ □
7	6月4日	Unit 1: At the gate : lost and found	□英語でお願いをしてみよう □忘れ物・落とし物の単語確認 □
8	6月11日		□ □ □
9	6月18日	単語テスト② 10点 Unit1: At the gate :payment, refund	□英単語が出てこないときの対処法 □清算・払い戻し・返金方法 □
10	6月25日	単語テスト③ Unit 2: Emergency Response drunk and aggressive behaviour	□英語であやまってみよう □飲酒、喧嘩などの対応方法 □
11	7月2日	実技テスト② 20点	□Unit 2 のRole play □ □
12	7月9日	単語テスト④ Unit3: JR ticket office Departure and arrival	□英語で誘ってみよう! □費用・到着時間案内 □
13	7月16日	単語テスト⑤ Unit 3 : JR ticket office Rail pass	□英語で相手へたくさん質問してみよう □引き換え方法・使い方について案内 □
14	7月23日	実技テスト③15点	□Unit3 のRole Play □ □
15	7月30日	feedback	□一学期の復習 □feed back □来期にむけて

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	金	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	運賃料金			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

総合旅行業務取扱管理者資格保持者で、旅行会社にて鉄道等交通機関利用の旅行を企画。当校では旅行国家試験対策に携わる

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
オリジナル教材	JR、貸し切りバス、フェリーの運賃と料金の算出方法の基礎を学ぶことで各運送機関のルールを学習する

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
JR、貸し切りバス、フェリーの運賃料金を学ぶ
(授業形式)
オリジナル教材を中心に講義形式で学習
(教材)
オリジナル教材
(評価方法)
授業内で実施する確認テストの合計で評価

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月10日	オリエンテーション、授業概要説明、新幹線 【確認テスト】提出課題「鉄道地図」10点	□本授業の概要と到達目標を理解 □全国の新幹線路線図、主要駅、愛称を理解
2	4月17日	貸し切りバス	□貸し切りバスの運賃料金算出方法を理解
3	4月24日	【確認テスト】筆記「貸し切りバス」20点 JR 年齢区分、幹線と地方交通線、運賃計算のしくみ	□年齢区分を知る □幹線と地方交通線を理解する □運賃計算の仕組み理解
4	5月8日	【確認テスト】筆記「年齢区分と運賃」20点 本州と3島またがり乗車	□本州3社と3島（JR北海道、JR四国、JR九州）を相互にまたがり乗車する場合の運賃計算方法を理解する
5	5月15日	本州と九州にまたがり乗車するパターン	□本州と九州をまたがり乗車する場合の、各パターン別の運賃計算の違いを理解する
6	5月22日	運賃計算の原則（キロの通算、打ち切り、通過連絡運輸） 運賃計算の特例（特定都区市内、山手線内、大都市近郊区間）	□キロの通算と打ち切りを理解 □通貨連絡運輸のルールと計算手順を理解 □特定都区市内、山手線内および大都市近郊区間内を発着する場合の運賃計算ルールを知る
7	5月29日	個人割引（往復割引、学生割引、障がい者割引）	□往復割引、学生割引、障がい者割引の割引率や計算方法を理解する
8	6月5日	料金計算の基本（種類、原則、新幹線と在来線） 特急料金、シーズン区分、自由席、グリーン席、寝台車	□運賃と料金の違いを再確認する □料金計算の基本を理解する □乗車設備による料金計算の違いを理解する
9	6月12日	【確認テスト】筆記「新幹線」20点 グリーン料金、寝台料金、新幹線内乗り継ぎ	□グリーン料金、寝台料金の設定条件および使用条件による料金の違いを知る □新幹線内乗り継ぎの条件と計算方法を理解する
10	6月19日	各種乗り継ぎパターンによる新幹線の料金	□新幹線乗り継ぎの乗り継ぎパターンの違いによる計算方法の違いを知る
11	6月26日	東北新幹線と北海道新幹線の乗り継ぎ、個室料金	□東北新幹線と北海道新幹線を乗り継ぐ場合の計算方法を理解する □個室料金の計算方法、利用人数による計算方法の違いを理解する
12	7月3日	団体運賃・料金、変更・払い戻し、急行列車の遅延	□団体の運賃と料金の計算方法を理解する □団体の計算に必要な無賃人員や条件による割引率の違いを理解する
13	7月10日	発売日と有効期間、途中下車	□発売日、有効期間を理解する □途中下車のルールを知る
14	7月17日	【確認テスト】筆記「発売日・有効期限」20点 フェリー	□フェリーの計算ルールの基本を知る
15	7月24日	JR運賃・料金のまとめ 【確認テスト】筆記「総まとめ」10点	□これまでの総まとめ
16	7月31日	これまでの復習	□返却された前期まとめの確認テストの誤答を解説を聞いて解きなおす □前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E1	曜日	月	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	就職筆記試験対策（言語）			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

教員免許を取得し、中学・高校受験者の家庭教師を2年間、また高校での教職を5年間経験、本学では筆記試験やSPI対策の指導を実施中。

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
就職筆記試験対策（言語分野・非言語分野） 講師作成の資料	鉄道会社の採用試験で広く一般的に行われる、筆記試験やSPI試験の対策を行い、各企業が設けている合格基準に到達することが目標。就職筆記試験対策（非言語）授業と連動し、この科目では、SPI試験を解くための算数や数学の基礎力と、国語の基礎力の向上を行う。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
言語分野：テキストの項目に沿って、自学自習したのちに簡単な小テストで知識の習得を図る。
非言語分野：就職筆記試験やSPI試験で問題を解くための基礎力として、テキストや講師準備の練習問題を早く正確に解く力を養う。
(授業形式)
テキストを中心に必要に応じて講師が準備した練習問題などを解き、小テストで知識の習得を確認する。
(評価方法)
単元の終了ごとに行う筆記の確認テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック 到達目標（Can Doなど）
1	4月13日	授業ガイダンス 計算力・国語力診断テスト	□授業形式と学習項目、評価基準を理解する □就職筆記試験やSPI試験とは何なのかを理解する □SPI試験を解くための基礎力を確認する
2	4月20日	四則計算（整数） 同音異義語・同訓異字/読解力トレーニング	□整数の四則計算（足し算、引き算、掛け算、割り算）を解くための方法を確認する □多くの同音異義語や、同訓異字知り、文脈に応じて正しい漢字を選択できる □短文を熟読し、要旨を把握できる
3	4月27日	四則計算（整数） 同音異義語・同訓異字/読解力トレーニング	□整数の四則計算を解くための方法を確認する □多くの同音異義語や、同訓異字知り、文脈に応じて正しい漢字を選択できる □短文を熟読し、要旨を把握できる
4	5月11日	確認テスト①25点 四則計算（小数・分数） 同意語・同義語	□整数の四則計算と同音異義語・同訓異字の確認テスト □小数の足し算、引き算、掛け算、割り算を解くための方法を確認する □多くの同義語・同意語を知り、文章表現を豊かに、同じ言葉の繰り返しを避ける
5	5月18日	四則計算（小数・分数） 同意語・同義語/読解力トレーニング	□小数の四則計算を解くための方法を確認する □多くの同義語・同意語を知り、文章表現を豊かに、同じ言葉の繰り返しを避ける □短文を熟読し、要旨を把握できる
6	5月25日	確認テスト②25点 Xを使った計算 反意語・対義語	□小数・分数の四則計算と四則混合の計算、同意語・同義語の確認テスト □文字式や一次式、一次方程式を解くための方法を確認する □反意語・対義語を学び、語彙力を増やし、論理的な思考力や文章の読解力を身につける
7	6月1日	Xを使った計算 反意語・対義語/読解力トレーニング	□文字式や一次式、一次方程式を解くための方法を確認する □反意語・対義語を学び語彙力を増やし、論理的な思考力や文章の読解力を身につける □短文を熟読し、要旨を把握できる
8	6月8日	Xを使った計算 反意語・対義語/読解力トレーニング	□文字式や一次式、一次方程式を解くための方法を確認する □反意語・対義語を学び語彙力を増やし、論理的な思考力や文章の読解力を身につける □短文を熟読し、要旨を把握できるようになる
9	6月15日	確認テスト③25点 単位換算 重要語句	□Xを使った計算と反意語・対義語の確認テスト □基準単位の大きさを理解し、大小の単位変換ができる □試験に頻出する重要語句を身につけ、読解力を向上させる
10	6月22日	割合の基礎 重要語句/読解力トレーニング	□割合の基礎として、小数・歩合・百分率の変換を確認する □試験に頻出する重要語句を身につけ、読解力を向上させる □短文を熟読し、要旨を把握できる
11	6月29日	割合の基礎 重要語句/読解力トレーニング	□割合の基礎として、小数・歩合・百分率の変換を確認する □試験に頻出する重要語句を身につけ、読解力を向上させる □短文を熟読し、要旨を把握できる
12	7月6日	割合の基礎/速度算の基礎 重要語句/読解力トレーニング	□割合の基礎として、小数・歩合・百分率の変換を確認する □試験に頻出する重要語句を身につけ、読解力を向上させる □短文を熟読し、要旨を把握できる
13	7月13日	確認テスト④25点 外来語・語彙/読解力トレーニング	□単位換算と割合の基礎、速度算の基礎の確認テスト □語彙力を増やし読解力を高めるため、外来語・語彙を知る □短文を熟読し、要旨を把握できるようになる
14	7月27日	評価フィードバック まとめ	□前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手を知り、今後の学習目標をたてる

履修時期	2026年度前期	授業クラス	EI2	曜日	火	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	プレゼンテーションスキル			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

旅行会社のアウトセールスにて企業向けに企画を立案しプレゼンテーションを実施

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
オリジナル教材にて実施	面接選考へ向け、面接官とのコミュニケーションを意識した会話力・表現力を習得する。 特に前期は「面接形式を用いたプレゼンテーション能力育成」を中心に、「回答瞬発力」を高めるため、想定質問を数多くこなし伝える意識を養う。

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

(授業概要)
本授業は、面接形式のトレーニングを通して、人前で自分の考えや経験を分かりやすく伝える自己プレゼンテーション能力を身につけることを目的とする。表情・発声・姿勢といった非言語コミュニケーションから、質問に対する構成力・瞬発力まで段階的に実践を重ね、最終的に人前で自信を持って話せる力の定着を図る。
(授業形式)
実技中心の演習形式で行う。個人発表、ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション等を実施し、必要に応じて動画撮影による振り返りを行う。
(評価方法)
評価基準はA（100~80点）、B（79~70点）、C（69~60点）、D（59点以下）。実技による評価を行う。。ワークシート・課題提出、授業態度にて評価項目を設定。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック 到達目標（Can Doなど）
1	4月14日	授業概要説明 オリエンテーション 自己表現トレーニング①	□表情トレーニング 「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する □授業の到達目標、授業形式、評価方法を理解する □就活面接で実施される「自己紹介」を実践・発表する<配点：5点>
2	4月21日	自己表現トレーニング② 効果的な「自己紹介」 発表時達成目標：「笑顔づくり」	□表情トレーニング「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する □就職活動における「自己紹介」の違い・意味を理解し、実践できるようになる □自己紹介内容を再構築し、改めて発表する<配点：15点>
3	4月28日	自己表現トレーニング③ 指定課題：「専門学校志望理由」	□言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する □就職活動における質問課題、「専門学校志望理由」の原稿を作成し、述べることができる □動画撮影を行う、自己紹介→専門学校志望理由（※必須） <配点：5点>
4	5月12日	自己表現トレーニング④ 指定課題：「専門学校志望理由」 発表時達成目標：「声の大きさ」	□言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する □「専門学校志望理由」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する<配点：15点>
5	5月19日	自己表現トレーニング⑤ 指定課題：「成功体験」と「失敗体験」	□所作トレーニング 「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する □就職活動における質問課題、「成功体験・失敗体験」の原稿を作成し、述べることができる <配点：5点>
6	5月26日	自己表現トレーニング⑥ 指定課題：「成功体験」と「失敗体験」 発表時達成目標：「姿勢（着席）」	□所作トレーニング「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する □「成功体験」「失敗体験」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する<配点：15点>
7	6月2日	自己表現トレーニング⑦ 指定課題：「周りからどんな人と言われるか」	□表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面においての気配りを理解する □周りから見た自分を客観的に認識し、自身の意外な一面や違いを整理することができる □就職活動における質問課題、「周りからどんな人と言われるか」の原稿を作成し、述べることができる<配点：5点>
8	6月9日	自己表現トレーニング⑧ 指定課題：「周りからどんな人と言われるか 発表時達成目標「アイコンタクト」	□表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面においての気配りを理解する □「周りからどんな人といわれるか」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する <配点：15点>
9	6月16日	自己表現トレーニング⑨ ※必須課題 指定課題：「授業当日発表」 瞬発力向上	□アイスブレイク「雑談力」を上げる （2分トーク） ※テーマ・条件当日設定 □質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点：5点>
10	6月23日	自己表現トレーニング⑩ ※必須課題 指定課題：「授業当日発表」瞬発力向上	□アイスブレイク「雑談力」を上げる （2分トーク） ※テーマ・条件当日設定 □質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点：5点>
11	6月30日	自己表現トレーニング⑪ ※必須課題 指定課題：「授業当日発表」 瞬発力向上 発表時達成目標：「学んだこと全て」	□アイスブレイク「伝達力」を上げる （2分トーク） ※テーマ・条件当日設定 □面接における立ち振る舞い「笑顔・声・姿勢・アイコンタクト」など基本所作を理解する □質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる <配点：10点>
12	7月7日	ディスカッショントレーニング① グループディスカッション（課題解決型）	□グループディスカッションの基本的な流れ（目的共有・意見出し・整理・結論）と、企業が見る評価ポイントを理解することができる □司会・書記・タイムキーパーなどの役割を理解し、自身の役割を意識した行動ができる □ 課題に対して自分の意見を論理的に伝え、他者の意見を尊重しながら建設的な話し合いに参加することができる
13	7月14日	ディスカッショントレーニング② グループディスカッション（ディベート型）	□ ディベート型グループディスカッションの特徴（立場の明確化・主張と根拠・反論）を理解することができる □ 相手の意見を正しく理解し、感情的にならずに反論や補足意見を行うことができる □ 個人の主張だけでなく、チームとしての結論や主張の一貫性を意識した議論に参加することができる
14	7月21日	ディスカッショントレーニング③ グループディスカッション（アイディア型）	□ アイディア型グループディスカッションにおいて、正解のない課題に対する考え方や評価の視点を理解することができる □ 自身の発想を他者に分かりやすく伝え、他者の意見を活かしながらアイディアを発展させることができる □ 制限時間や条件を意識し、実現性・独自性・具体性を踏まえた提案を行うことができる
15	7月28日	成績フィードバック グループトレーニング	□前期成績のフィードバックを行うと共に、後期の目標設定を行う □成長の度合いを確認する（動画撮影） 自己紹介→専門学校進学理由 （※必須）

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E	曜日	木	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	キャリアガイダンス			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-

実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）

旅行会社にて企画・営業・添乗業務全般を経験。本校では延べ10年新卒・中途採用の面接官をするとともに学生への面接指導も担当

教材・自己学習法・目指せる資格など	授業のねらい、将来の活用例など
キャリアサポートセンターオリジナル教材にて実施	将来、自身が想い描くキャリアを描けるよう、これまでの経験を整理し、就職活動へ向けた準備を行う。また、「自分と向き合うこと」で、自身が大切にしている価値観に気づき、企業にアピールするべき自分の「強み」を認識し自己PRの作成に繋げる。またAI使用は自分の経験を整理・言語化するための補助ツールとして使用する

授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）

（授業概要）
本授業は、就職活動および将来のキャリア形成に向けて、自己理解を深め、自身の強みや価値観を言語化することを目的とする。これまでの経験や出来事を振り返りながら整理・分析を行い、企業に伝えるべき自己PRを構築する。また、生成AIを補助的なツールとして活用し、文章構成や表現の改善を行うことで、論理的かつ説得力のある文章作成力を養う。授業後半では、文章だけでなくアピール動画の作成にも取り組み、実践的なアウトプットを通じて自己表現力の向上を図る
（授業形式）
講師からの講義を受け、ワークシートを作成する。その後、実技等を通じ体感的理解に繋げる。
（評価方法）
評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。ワークシート・課題提出 、文章課題（自己PR） 、授業参加姿勢、アピール動画より総合的に評価します。

回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック　到達目標（Can Doなど）
1	4月16日	オリエンテーション 就職活動スケジュール キャリアをデザインする、「働く」を考える	□授業の形式と実施項目、評価基準を理解する □就職活動の全体的なスケジュールを把握することができる【選考基準・学校推薦企業】 □キャリアをデザインするうえで必要な「自分を知る」、「社会を知る」を理解することができる
2	4月23日	自己理解① 就職活動における経験の重要性【★課題20点 】	□就職活動で必要となる「これまでの経験」を整理することができる □「これからの経験」を想定し、今後の目標を設定することができる □就職活動における情報収集の手段、整理の方法を学ぶことができる
3	5月7日	スポーツデー	
4	5月14日	自己理解② 過去の経験を整理する【課題ワークシート10点】	□自己理解・分析の目的と進め方を理解する □企業が求める自己PRを理解する □成功経験／失敗体験など出来事を整理する
5	5月21日	自己理解③ 過去の経験を整理する【課題ワークシート10点】	□影響を受けた他者、周囲の人間関係を整理することができる □挑戦してよかったこと、今年度中に自ら挑戦しようと思っていることを整理する
6	5月28日	自己理解④ 過去の経験の整理と強み	□過去の経験をもとに、エピソードを「選出」し、自身の軸として確立することができる □自身の軸と目指す業界との共通点を見つけ落とし込みをすることができる
7	6月4日	設問トレーニング① 文章構成 【★課題ワークシート10点】	□生成AI使用 コンテキストを使用し、プロンプトを入力し実施する □設問に対し、論理的な文章を構築することができる □PREP法など簡単な文構成を学びセルフチェックが自身で行えるようになる。
8	6月11日	設問トレーニング② 自己PR 【★必須 生成AI使用/チェッカー10点】	□自己PRの基本構成・ポイントを把握することができる □具体的な「行動」に焦点をあて、アピールポイント（人柄・性格）を整理することができる □生成AIを使用した文章を、チェッカーにかけ使用率を確認し、使用限度を確認する
9	6月18日	設問トレーニング③ 自己PR 【課題ワークシート 自己PR完成 20点】	□自己PRの題材を選定しアピールポイントを整理・決定する □具体的な行動における「場面・状況・課題・成長・変化」等を説明することができる □自己PRの題材について指定文字数で説明することができる（200/300/400文字） 文字数の要約をAIにて実施する
10	6月25日	企業アプローチ インターンシップ準備と就活公欠ルール 身だしなみの重要性 【マイナビ登録確認】	□学内における就活ルール、公欠ルール等を把握する □就職活動に必要な書類を把握することができる □履歴書・エントリーシートの役割や違いを学ぶことができる □就職活動やインターンシップ選考など、身だしなみが与える第一印象の重要性を理解することができる
11	7月2日	選考トレーニング① 採用基準と採用傾向	□業界の採用選考において重視される人物像と評価基準を理解する。 □職種・企業の採用基準と自身の経験・強みを結びつけて整理することができる □業界の採用フローと特徴を理解することができる
12	7月9日	選考トレーニング② オンライン選考とAI採用選考	□オンライン選考（Web面接・動画選考）の特徴と、対面選考との違いを理解することができる □オンライン選考時における注意点（通信環境、カメラ位置、表情、声のトーン、背景・服装）を理解し、事前準備ができる □画面越しでも好印象を与えるための話し方・リアクション・自己表現のポイントを理解することができる □AI面接・AI採用試験を導入している企業があることを理解し、評価の仕組みや特徴を把握することができる
13	7月16日	選考トレーニング③ オンライン選考とAI面接ツール	□AI面接ツールを把握（利用）し、選考対策に備える □AI面接・AI採用試験を導入している企業があることを理解し、評価の仕組みや特徴を把握することができる
14	7月23日	設問トレーニング⑤ アピール動画の作成 【★必須・動画収録課題20点】	□自己アピール動画の作成手順を知ることができる □指定課題に沿った、動画を収録することができる
15	7月30日	進路面談 ※面談中にアピール動画の収録実施 成績フィードバック	□成績フィードバック □後期への課題を整理することができる □夏季休暇における過ごし方